

平成 6 年度

市内遺跡発掘調査報告書

1995. 3

前橋市教育委員会

例　　言

1. 本報告書は、平成6年度に埋蔵文化財の確認調査を実施した市内の概要をまとめてある。
2. 本事業にかかる経費は、平成6年度文化財関係国庫補助事業として、国庫補助、県費補助及び市費により計上されている。
3. 本報告書では、平成5年度の報告書に未収録の平成5年12月から平成6年3月分と、平成6年4月から平成7年1月までの32件の確認調査の概要を掲載する。平成7年2月から3月までの分は平成7年度の報告書に掲載する。
4. 確認調査は前橋市教育委員会文化財保護課で行った。21号は県教委と共同で実施。
調査 佐藤明人、飯島義雄(県)、高橋正男、駒倉秀一、園部守央、井野誠一、前原 豊、伊藤 良、戸所慎策、狩野吉弘、齊藤仁志、坂口好孝、大山知久、林 信也、飯島勝亥(市)
- 整理 井野誠一、伊藤 良
5. 発掘調査にかかる記録類、出土遺物等は前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。
6. 文中のB軽石は天仁元年(1108年)浅間山噴出の軽石を意味する。さらに県内ではFA(6世紀初頭榛名山二ツ岳形成時噴出)、FP(6世紀中頃 同)、C軽石(4世紀中頃浅間山噴出)が指標とされている。

目　　次

例　　言	
目　　次	
1. 確認調査一覧表	1
2. 確認調査位置図	2
3. 平成6年度調査の概要	2
4. 確認調査の概要	3
5. 写真図版	18

1. 確認調査地一覧表

(No16~19は平成5年度分)

(Noは申請順)

No	所在地	開発面積m ²	開発原因	調査日	調査概要
16	小島町177-1	2,493	ガソリンスタンド	5・12・15	遺物・遺構とともに検出されず。
17	上新田町字雷電1038-1外	2,356	宅地造成	6・2・9	遺物・遺構とともに検出されず。
18	下佐鳥町468-1外	17,756	事務所外	6・3・15、16	遺物・遺構とともに検出されず。
19	高井町一丁目22-11外	4,666.86	店舗	6・3・10	遺構なし。繩文時代及び奈良～平安時代の土器片出土。
1	総社町総社2871	807	アパート	6・4・7	古墳～平安時代の住居跡検出。古墳時代及び古墳～平安時代の土器片出土。保存。工事立会実施。(座道遺跡)
2	二之宮町地内	1,200	プール改築	6・4・12	古墳時代の住居跡検出。古墳時代の土器片等出土。6年度に発掘調査実施。(荒堀青柳II遺跡)
3	上新田町地内	150	校舎増築	6・4・21	遺物・遺構とともに検出されず。
4	堤町地内	250	校舎増築	6・4・21	遺物・遺構とともに検出されず。
5	西大室町地内	4,900	道路改良	6・5・10	遺構なし。奈良～平安時代の土器片出土。
6	小坂子町1917-1外	6,530	特別養護老人ホーム	6・4・14	遺物・遺構とともに検出されず。
7	箱田町字五反田992番1外	2,569.09	店舗	6・4・27	平安時代の水田跡検出。奈良～平安時代の土器片出土。6年度に発掘調査実施。(五反田II遺跡)
8	鶴光路町382番地外	3,363.41	道路改良	6・5・18	平安時代の水田跡検出。奈良～平安時代の土器片出土。協議中。(西田遺跡)
9	下新田町字新畑427-5外	2,886	宅地造成	6・5・25	遺物・遺構とともに検出されず。
10	総社町総社地内	2,500	学校用取り付け道路	6・6・9、10	遺物・遺構とともに検出されず。
11	元総社町字早道792番外	2,321	未定	6・6・16、17	奈良～平安時代の土坑及び発堀跡、中世の堀と井戸を検出。奈良時代～中世の土器片等出土。協議中。(早道遺跡)
12	高井町一丁目22-4外	2,504.59	宅地造成	6・6・21	遺物・遺構とともに検出されず。
13	箱田町字木下1397-1	1,018	宅地造成	6・7・14	遺物・遺構とともに検出されず。
14	元総社町・総社町総社地内	1,038	土地区画整理	6・7・1	平安時代の住居跡の竈の一部を検出(調査済)。奈良～平安時代の土器片出土。工事立会実施。
15	江田町353-1外	2,644	工場・事務所	6・7・19	遺物・遺構とともに検出されず。
16	二之宮町地内	3,372.95	道路設置	6・7・28	遺構なし。奈良～平安時代の土器片出土。
17	総社町総社1373	588	自治会公民館	6・8・3	古墳の周堀検出。埴輪片出土。保存。工事立会実施。(遠見山古墳)
18	下新田町字町下538外	2,941.86	宅地造成	6・8・17	遺物・遺構とともに検出されず。
19	大渡町一丁目6番3	165.41	未定	6・8・19	古墳の壇丘構築時の地山面検出。埴輪片出土。(王山古墳)
20	山王町79-1	1,231	コイン洗車場	6・8・31	古墳の周堀検出。土器・埴輪片出土。設計変更し保存。(文殊山古墳)
21	勝沢町地内	180,000	県営保場整備	6・9・12~28 (延べ6日)	古墳時代の住居跡検出。繩文時代及び古墳～平安時代の土器片等出土。協議中。(西曲輪遺跡)
22	大手町三丁目7-1	392.79	新聞社支局	6・9・14	近代以降の溝と棚列検出。近代以降の瓦・陶磁器片出土。工事立会実施。
23	富田町地内	1,905	農業構造改善	6・12・6	繩文時代の土坑、近世の溝を検出。協議中。(木舟遺跡)
24	鶴光路町268番外	4,411.83	道路改良	6・12・8	平安時代の水田跡検出。協議中。(西田遺跡)
25	房丸町121番外	3,569.76	道路改良	6・12・13	遺物・遺構とともに検出されず。
26	前箱田町281番外	3,650	道路改良	6・12・15	平安時代の水田跡検出。協議中。(稻荷遺跡)
27	朝日町四丁目22番	5,381.33	消防庁舎	6・12・20	遺物・遺構とともに検出されず。
28	西大室町地内	11,500	公園整備	7・1・10、11	繩文時代の包含層2か所と土坑4基、弥生～古墳時代の土坑1基と溝1条を検出。繩文時代早期末の土器片等出土。協議中。(内堀遺跡群)

2. 平成 6 年度調査地位置図

(①～②は 6 年度)

(⑯～⑲は 5 年度)



3. 平成 6 年度調査の概要

平成 6 年度は平成 5 年度に比べ景気の回復にともない開発件数が急増した。市内の西部から南西部での確認調査が多く見られた。

遺跡の確認件数も多く、本報告書収録の32件の確認調査中13の遺跡が確認された。確認調査実施後、本発掘調査に至った遺跡では、二之宮町の荒砥青柳II遺跡で古墳～奈良・平安時代の住居跡15軒その他と多量の遺物が検出されている。

また、箱田町の五反田II遺跡では平安時代の水田の調査が実施された。同様の平安時代の水田跡の確認された地点は、鶴光路町・前箱田町にあり、現在保存協議中である。

古墳に関する調査も多く、いずれも保存協議締結となったが、貴重な資料を得ることができた。

4. 確認調査の概要 (16~19は平成5年度、1~28は平成6年度)

(1) 平成5年度

16 小島田町177-1

2,493m² ガソリンスタンド

平成5年12月15日

調査の状況

開発予定地付近は、利根川の旧流路である広瀬川低地帯と旧利根川による浸食から残された前橋台地への移行部にあたり、予定地南の隣接地では、平成3年度に国道50号線の拡幅工事に先立ち県埋蔵文化財調査事業団が平安時代の水田跡（寛井八戸市遺跡）の発掘調査を実施していることから試掘調査を実施した。

調査の結果、B軽石層が確認されたため、B軽石層の下の土層の断面・下面の精査を行ったが、水田跡と断定できる畦畔の高まりを確認するまでには至らなかった。また、遺物も検出されなかった。



17 上新田町字雷電1038-1外

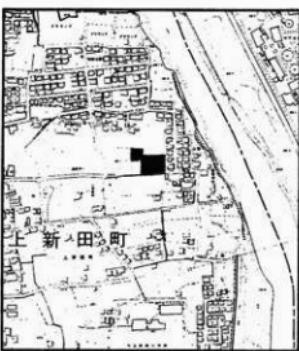
2,356m² 宅地造成

平成5年2月9日

調査の状況

開発予定地は、地質学的には前橋台地上に位置し、予定地周辺の前橋台地には高遺跡・前箱田遺跡・中大門遺跡等数多くの古代水田遺跡が発見されており、開発予定地西200mの場所を昭和61年に試掘調査を実施した際に平面的にははっきりしないものだったが、断面で古墳・平安時代の水田土壤を確認している。また、予定地東150mに位置する雷電神社の南からは、土器の散布が認められている。

以上の理由より、試掘調査を実施したが、調査の結果、B軽石層が確認されたため、B軽石層の下の土層の断面・下面の精査を行ったが、水田跡と断定できる畦畔の高まりを確認するまでには至らなかった。また、遺物も検出されなかった。



18 下佐鳥町468-1外

17,756m² 事務所外

平成6年3月15日・16日

調査の状況

開発予定地の東隣接地は、平成2年度に試掘調査を実施し、古墳時代の土器を大量に含む井戸跡等が検出された遺跡（東田遺跡）が発見され、発掘調査が行われたところである。

試掘調査は、開発面積が広いため、2日間をかけ、建物建設予定部分を中心にトレンチを設定し行った。

調査は、まず、最初に深掘りを入れ、土層観察を行ってB軽石層が確認されたため、平安時代の水田跡と古墳時代の住居跡が確認される可能性を考え、C軽石混じりの黒褐色粘土層までの表土掘削を行った。

しかし、掘削後、トレンチの断面・下面の精査を行ったが、B軽石層の下の土層からは水田跡と断定できる畦畔の高まりを確認できず、また、住居跡等の遺構も確認されず、遺物もみられなかった。



19 高井町一丁目22-11外

4,666.86m² 店舗

平成6年3月10日

調査の状況

開発予定地は、洪積台地である前橋台地上に位置し、榛名山に源を発する小河川が東南に開析しているところで、予定地の西からは柿木遺跡・青葉遺跡等が発見されている。また、開発予定地は、既存の建物の基礎抜き工事時に表面調査を実施したところで、その際遺構は確認されなかったが、既存の建物の断面より縄文土器片と土師器片が1点ずつ検出されたため、試掘調査を実施した。

調査は、店舗建設予定部分を中心にトレーナーを設定し、深掘りを入れ断面の土層観察後、砂質ローム土上面までの表土掘削を行った。掘削後、トレーナー断面・下面の精査を行い、奈良～平安時代を中心とした土器片が出土したため、住居跡の可能性を考え、土器片が出土した部分を中心にさらに10m前後拡張し精査したが、住居跡と断定することはできなかった。



(2) 平成6年度

1 総社町総社2871

807m² アパート

平成6年4月7日

調査の状況

開発予定地の南側約50mの場所は、平成4年度に試掘調査を実施し、古墳～平安時代の遺物及び、奈良～平安時代の住居跡4軒が検出された堀南遺跡が発見されたところである。

開発予定地は木造2階建アパート建築予定地で、試掘調査は建物建築予定部分に東西方向にトレーナーを設定し実施した。

調査の結果、古墳～平安時代の住居跡を4軒確認したが、いずれの住居跡も地表から80cmより下からの確認で、工事による掘削が埋蔵文化財に影響を及ぼすおそれがないと判断し、開発行為着手にあたっては建物基礎掘削時の工事立会とした。



2 二之宮町地内

1,200m² プール改築

平成6年4月12日

調査の状況

開発予定地の南隣接地は、古墳～平安時代の住居跡や溝、土坑、井戸が検出された荒砥青柳遺跡があり、本開発予定地内も全域が荒砥青柳遺跡に含まれる集落跡と考え、試掘調査を実施した。

調査の結果、土器片等が出土するとともに古墳時代の住居跡を5軒検出した。(荒砥青柳II遺跡)

本遺跡の取り扱いについて協議した結果、現状保存は困難とのことで、プール改築工事に先立ち平成6年7月13日～8月31日に発掘調査を実施した。

その結果、縄文時代の土坑1基、古墳時代の住居跡12軒・落ち込み1基、奈良～平安時代の住居跡3軒、中・近世の溝1条・井戸1基外を検出し、コンテナバット30箱分の縄文時代の石器・土器、古墳時代の土器、奈良～平安時代の土器等が出土した。



3 上新田町地内

150m² 校舎増築

平成6年4月21日

調査の状況

開発予定地は、地質学的には前橋台地上に位置し、予定地周辺の前橋台地には日高遺跡・前箱田遺跡・中大門遺跡等数多くの古代水田遺跡が発見されている。開発予定地北西300mの場所は、昭和61年に試掘調査を実施したところで、平面的にははっきりしないものだったが、断面で古墳・平安時代の水田塙を確認している。

したがって、古墳並びに平安時代の水田跡が検出される可能性があつたため、試掘調査を実施した。

調査の結果、B軸石層が確認されたため、B軸石層の下の土層の断面・下面の精査を行つたが、水田跡と断定できる畦畔の高まりではなく、むしろ断面の土層状況から湿地であったと考えられる。なお、遺物も検出されなかつた。



4 堤町地内

250m² 校舎増築

平成6年4月21日

調査の状況

開発予定地は、赤城南面を流れる小河川によりできた南北に長い台地上に位置し、予定地のすぐ東並びに南東約100mには、平成2年度に発掘調査を実施した沼西II遺跡・沼西遺跡があり、併せて10軒の奈良～平安時代の堅穴住居跡等が検出されている。また、堤沼の対岸にあたる東の台地は、昭和60年調査の萱野団地遺跡があったところである。

試掘調査は、沼西II遺跡・沼西遺跡の広がりを把握するために実施したが、その結果、開発予定地箇所は、現校舎建設の際に廃材の捨て場として既に掘削が行われており、下面精査でも遺構及び遺物は確認されなかつた。



5 西大室町地内

4,900m² 道路改良

平成6年5月10日

調査の状況

開発予定地は現神沢川の右岸にあたるが、その東側は神沢川改修に先立ち昭和53年に発掘調査を実施した荒砥東原遺跡、また、予定地西側は平成元年に発掘調査を実施した天神遺跡があったところである。

しかし、昨年度試掘調査を実施した開発予定地の北に隣接する部分の調査の結果では、古代より改修前まで神沢川の流路とその河川敷であったことが確認されている。

調査の結果、若干の遺物と断面よりB軸石層が確認された箇所があったものの、その下面には遺構は確認されず、さらに、その下層の確認でも遺構は確認されなかつた。

開発予定箇所が前回の試掘調査地と同様の、旧神沢川の河川敷であること認められた。



6 小坂子町1917-1外

6,530m² 特別養護老人ホーム

平成6年4月14日

調査の状況

開発予定地の東側約300mの場所は、繩文土器片・石器が発見されている周知の文化財包蔵地である「下大平遺跡」が広がっており、また、予定地西隣接地の畑に遺物の散布がみられたため、試掘調査を実施した。

調査は、建物建設予定部分を中心にトレンチを設定し、まず、深掘りを入れ断面の土層観察を行ったが、現耕作土を取り除くと地表下25cmよりハードロームの上面（As-YP, As-SPを含む層）が認められ、予定地の建物建設予定地部分のほぼ全域が後世の山林を開墾した際の削平により、ハードロームの上面もしくはハードロームのAs-BPを含む層まで削られていることがわかった。遺構・遺物は検出されなかった。



7 箱田町字五反田992番1外

2,569.09m² 店舗

平成6年4月27日

調査の状況

開発予定地は、市立東小学校の東側約200mに位置し、予定地の西側200mには村前遺跡、また、北側150mには五反田遺跡といった平安時代の水田跡が検出されている遺跡地に近接しているため、試掘調査を実施した。

調査は、店舗建設予定部分を中心にトレンチを設定し、まず、深掘りを入れ断面の土層観察を行った。その結果、地表下25cmくらいからB軽石層が検出されたため、その軽石層下面までの表土掘削を中心に行った。トレンチの断面・下面精査の結果、水田の畦畔と考えられる高まりを東西方向に4本、南北方向に1本検出し、建設予定部分のほぼ全域に平安時代の水田跡が存在することが確認された。（五反田II遺跡）

本遺跡の取り扱いについて協議した結果、現状保存は困難とのことで、店舗新築工事に先立ち平成6年11月10日～12月6日に発掘調査を実施した。



8 鶴光路町382番地外

3,363.41m² 道路改良

平成6年5月18日

調査の状況

開発予定地の南側は、平成5年度に試掘調査を実施し、土師器・土器片が検出されたものの遺構の検出には至らなかったところである。開発予定地は、遺物の散布がみられる集落一帯を縦断するため、試掘調査を実施した。

調査の結果、南部から中央部までは、耕作及び以前の土地改良の工事によると思われる搅乱がみられ、遺構並びに鍵層も検出されなかった。しかし、北部ではB軽石層が確認され、その下より平安時代の水田跡の畦畔が検出された。幅5～10cm、高さ5～10cmと比較的細いものであったが、連続して検出され、東西方向にも伸びていることも確認された。また、奈良～平安時代の土師器片も出土した。（西田遺跡）

現在、本遺跡の取り扱いについて協議中。



9 下新田町字新畑427-5外

2,886m² 宅地造成

平成6年5月25日

調査の状況

開発予定地は、主要地方道前橋長瀬線から東へ約200m入った所に位置する。平成2年に南側を、平成3年に50m東を、ともに宅地造成に伴って確認調査を実施している。余里水田想定地である。

試掘調査の結果、地表下約30cmでB軽石層を検出したため、平安時代の水田跡の可能性を考えトレンチ底面の精査を行ったが、畦畔は検出されなかった。さらに、深掘り箇所でB軽石層下の土層断面の観察を行ったが、水田として使われた土とは認めがたく、本調査地に水田跡が存在する可能性は極めて薄いものと思われる。なお、遺物も検出されなかった。



10 総社町総社地内

2,500m² 学校用取り付け道路

平成6年6月9日・10日

調査の状況

開発予定地は、その西約50mに国指定史跡の（総社）二子山古墳、また、南約30mに愛宕山古墳があるところに位置したため、試掘調査を実施した。

調査の結果、開発予定地の北、中央部に北西より流れる旧流路の跡が検出され、また、中央部ではC軽石のブロックを含む黒色土層が確認されたものの、総社二子山古墳にかかる遺構及び住居跡等の遺構及び遺物は検出されなかった。



11 元総社町字早道792番地外

2,321m² 未定

平成6年6月16日・17日

調査の状況

開発予定地は、上野国府城推定地の南境並びに蒼海城の南辺部にあたり、予定地の南約150mには東山道が東西方向に走っていたところに位置する。また、予定地の北西約200mには昭和61年・63年度に発掘調査を実施した天神遺跡・天神II遺跡（奈良～平安時代の住居跡が検出されている）があり、予定地の北側及び東側には蒼海城の濠跡が残り、さらに、北側には現在五千石用水が流れている。なお、予定地内には比売塚（古墳か？）とか国分尼寺の参道跡があったとの言い伝えもあり、試掘調査を実施した。

調査の結果、比売塚が古墳であること、また、国分尼寺の参道跡の確認はできなかったものの、奈良～平安時代の土坑3基と焼土跡、中世以降の井戸1基と堀跡1条を検出し、奈良～平安時代を主とする遺物が出土した。（早道遺跡）



12 高井町一丁目22-4外

2,504.59m² 宅地造成

平成6年6月21日

調査の状況

開発予定地は、洪積台地である前橋台地上に位置し、榛名山に源を発する小河川が東南に開析しているところで、予定地の西からは柿木遺跡・青葉遺跡等が発見されている。

試掘調査の結果、西隅を除いて地山部分はほとんどみられず、その大半は、既存の建物建設時あるいは解体時に生じたと思われる擾乱であり、遺構・遺物とともに検出されなかった。



13 箱田町字木下1397-1

1,018m² 宅地造成

平成6年7月14日

調査の状況

開発予定地は、市立東小学校の南約250mに位置し、予定地の北400mには村前遺跡、また北東500mには五反田II遺跡、さらに600mには五反田遺跡といった平安時代の水田跡が検出されている遺跡地に接続している。

試掘調査の結果、現地表下40cmくらいまではコンクリート、アスファルト片等を含む盛土層で、平安時代の水田跡を見つける1つの指標となるB軽石層の純層はみられず、B軽石が50%前後含む層が地表下65cmから5~7cmの厚さで確認された。また、その下の層も厚さ5cm程度の灰色シルト層で、平安時代の水田耕作土として断定できる層ではなかった。掘削後、断面観察・下面精査も行ったが、水田の畦畔及び遺物も検出されなかった。



14 元総社町・総社町総社地内

1,038m² 土地区画整理

平成6年7月1日

調査の状況

開発予定地は、上野国府域推定地内にあり、また平成元年度に発掘調査を実施した元総社明神遺跡(丫トレーナー)に隣接する位置にあるため、試掘調査を実施した。

その結果、開発予定地のうち、南の飛び地は擾乱が多く、北東の区域は表土の掘削が以前になされ、総社砂層が表土下に検出される状況であった。また、北西の区域は染谷川による浸食と堆積があった痕跡が確認され、平安時代の住居跡の竈の一部を検出したものの、川の浸食を受けたものとみられ、その残存状態が不良のため試掘の範囲で調査をし、記録保存を行った。

以上の結果より、事業実施にあたっては、工事による掘削時に立ち会うものとした。



588m² 自治会公民館

平成6年8月3日

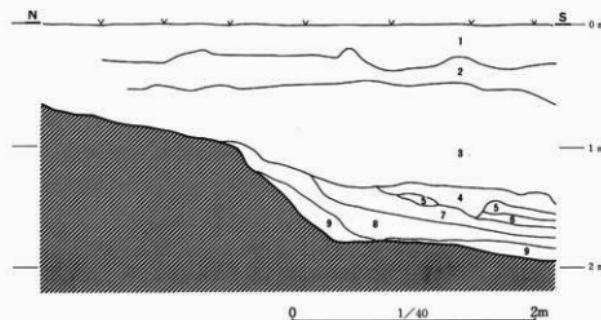
調査の状況

開発予定地は、遠見山古墳北側前方部からくびれ部にかけての周堀部分とその外縁部にあたるため、試掘調査を実施した。なお、同古墳の南側については、既に平成2年度、3年度に発掘調査が行われ、古墳の墳丘側周堀並びに外縁部側の周堀の立ち上がりが検出されており、同古墳の範囲が想定されている。

調査の結果、遠見山古墳北側の周堀墳丘側立ち上がり、並びに周堀外縁部側立ち上がりを検出したことにより、古墳北側の墳丘ライン並びに周堀外縁ラインが、平成2年度、3年度に実施された遠見山古墳南側発掘調査結果に基づき作成された北側想定ラインよりさらに外側に膨らむことが明らかになった。

したがって、開発予定地内の北側一部分を除き、予定地内が遠見山古墳範囲内に入ってしまうため、遺跡の現状保存について協議を重ねてきたが、必要に応じて盛土をし工事による掘削が埋蔵文化財に影響を及ぼすおそれがないよう、遺跡を現状保存する方向で協議を進めた。

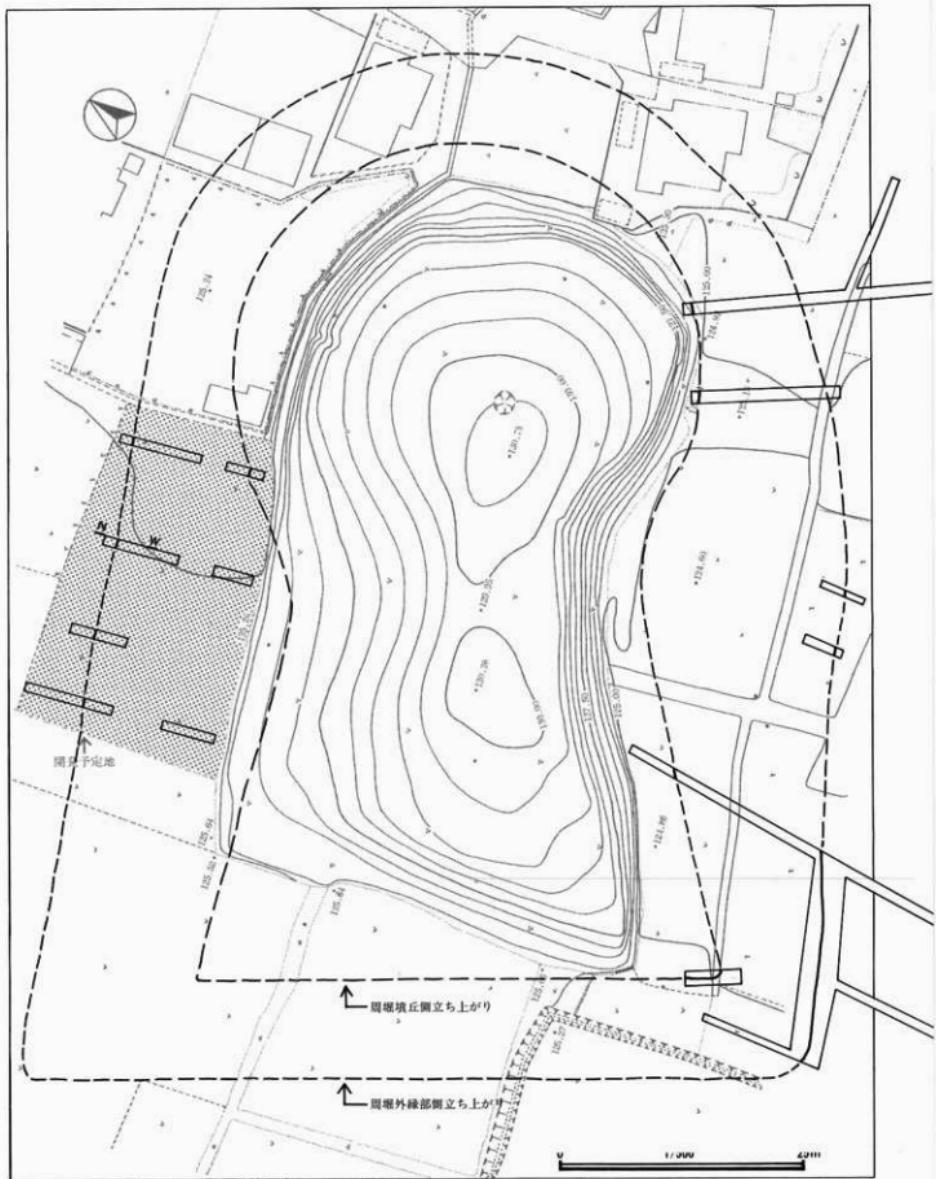
その結果、公民館建築予定部分は開発予定地の東半分で、試掘調査の結果から遺構確認面がすべて現地表から70cm下であること、また工事による掘削の深さが現地表から最深で12cm（基礎工事用栗石のみ）で、掘削が遺構確認面から30cm以上の厚さが確保でき、現状保存が可能であるため、開発行為着手にあたっては建物基礎掘削時の工事立会とした。



遠見山古墳周堀外縁部側立ち上がり部分の層序説明

- 1層 暗灰黄色 <2.5Y4/2> 細砂層 軽石なし。粘性なし、締まりややあり。
- 2層 黄褐色 <5YR4/6> 細砂層 ϕ 1のCP 2%含む。粘性なし、締まりあり。
- 3層 暗褐色 <10YR3/4> 細砂層 ϕ 1~5のCP 1%含む。粘性なし、締まりあり。
- 4層 黒色 <7.5YR2/1> 細砂層 ϕ 1のCP 3%含む。粘性あり、締まりややあり。
- 5層 B軽石+B輕石 粗砂層 粘性なし、締まりあり。
- 6層 B軽石純層 粗砂層 粘性、締まりともになし。
- 7層 黒色 <7.5YR2/1> 微砂層 B軽石が少量混じる。粘性あり、締まりややあり。
- 8層 黑褐色 <7.5YR2/2> 微砂層 B軽石が少量混じる。粘性あり、締まりややあり。
- 9層 にいよい黄褐色 <10YR4/3> 細砂層 ϕ 1~5の軽石 5%含む。粘性、締まりともにあり。

遠見山古墳周堀セクション図



速見山古墳 現況図

15 江田町353-1外

2,644m² 工場・事務所

平成6年7月19日

調査の状況

開発予定地は、高崎市との市境付近に位置し、南東400mには平安時代の水田跡が検出されている勝呂遺跡に近接しているため、試掘調査を実施した。

調査は、まず開発予定地北側に深掘りを入れ、断面の土層観察を行った。その結果、地表下20cmくらいからB軽石を50%前後含む層が検出されたものの、B軽石の純層はみられなかった。しかし、地表下60cmからはFA火山灰層、さらに地表下70cmからはC軽石層がみられたため、C軽石層下面までの表土掘削を中心に遺構の有無の確認を行った。確認面は南に行くほど浅くなり、FA火山灰層・C軽石層も薄くブロック状になり、予定地の南側では純層ではみられなかった。

掘削後、トレーナーの断面・下面精査を実施したが、遺物は1点も確認されず、平安時代並びに古墳時代の水田跡等の遺構も検出されなかった。



16 二之宮町地内

3,372.95m² 道路設置

平成6年7月28日

調査の状況

開発予定地の西約100mには古墳時代の集落跡である大日塚遺跡、また南西約250mには昭和62年度に群馬県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査を実施した今井道上道下遺跡（古墳～平安時代の住居跡他が検出されている）等があり、さらに、予定地内が「大日塚遺跡」（群馬県遺跡台帳 前橋市193 繩文包蔵地）付近にあたるため、試掘調査を実施した。

その結果、開発予定地内は、旧地表がかなりの削平を受けていることが確認でき、奈良～平安時代の土器片が若干検出されたものの遺構に結びつくものではなく、遺構は検出されなかった。



18 下新田町字町下538外

2,941.86m² 宅地造成

平成5年8月17日

調査の状況

開発予定地は、主要地方道前橋長瀬線から東へ約200m入った所に位置する。平成3年度に北西約150mの場所を宅地造成に伴って試掘調査を実施した。条里水田想定地にあたる。

試掘調査の結果、地表下約80cmでB軽石層を確認し、その下層の土層観察もおこなったが、粘性の強い泥炭状の黒色土で水田として使われた土とは認めがたかった。

掘削後、断面観察・下面精査も行ったが、水田の畦畔及び遺物も検出されなかった。



19 大渡町一丁目 6番 3

165.41m² 未定

平成 6年 8月 19日

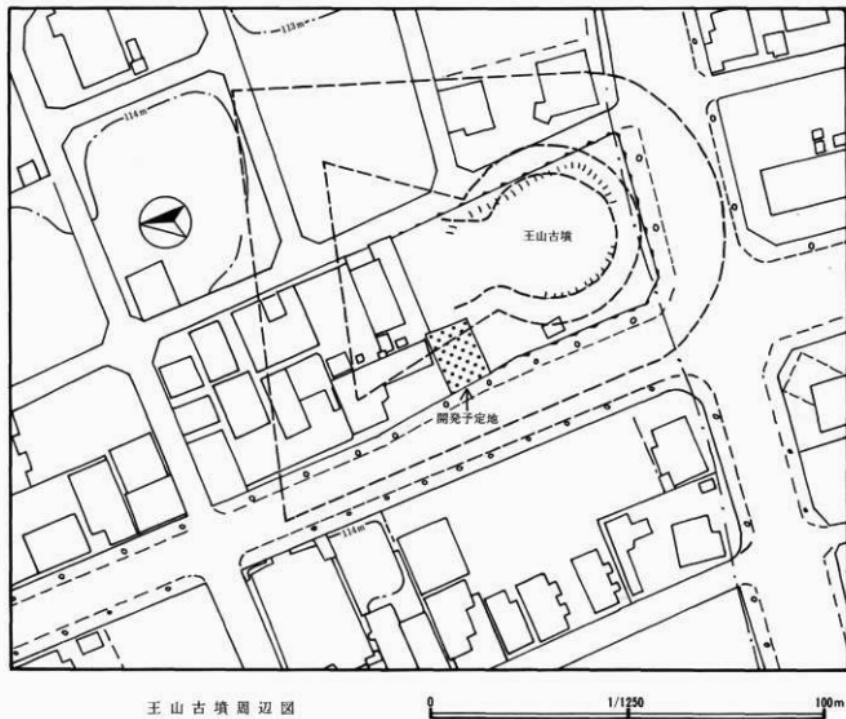
調査の状況

開発予定地は、王山古墳西側くびれ部の墳丘から周囲の部分にあたる。同古墳については、昭和47年に群馬大学史学部研究室が、また昭和49年に前橋市教育委員会が発掘調査を行い、その後墳丘の一部は盛土し公園として保存整備されている。

今回の開発予定地内は、昭和47・49年の発掘調査当時には人家が建っていたため調査の対象から除外された部分にあたるため、試掘調査を実施した。

調査は、同古墳の墳丘ラインにほぼ垂直（東西方向）にトレンチを設定し、古墳の墳丘側より重機を用いて掘削を行った。断面・下面精査の結果、トレンチの東側から墳丘構築当時の地山面と考えられるC軸石混じりの黒色土を地表下約35cmから確認検出したものの、予定地内に以前人が建っていたこと、さらには西側に道路に接しているため、トレンチ中央部分を中心に搅乱が多く、古墳に関連する遺構（墳丘平坦面・墳丘下段斜面・周囲墳丘下端等）は確認できなかった。

しかし、開発予定地が王山古墳の墳丘及び周囲部分にあたること、また、今回の試掘調査より予定地内の東側部分から墳丘構築当時の地山面が確認されたことから、今後開発行為着手にあたっては、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を実施中。



1,231m² コイン洗車場

平成6年8月31日

調査の状況

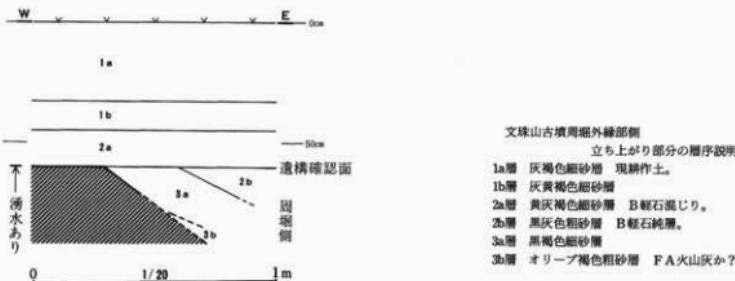
開発予定地は、道路を挟んで南を阿弥陀山古墳、東側を文珠山古墳と隣接しており、双方の古墳の周囲部分とその外縁部にあたる。

試掘調査は、まず文珠山古墳の墳丘主軸ラインにほぼ平行（東西方向）に3本のトレンチ（北から1・2・3トレンチと呼称する。）を設定し、1トレンチの古墳の外縁部側より順次重機を用いて掘削を行った。断面・下面精査の結果、3本のトレンチすべてから文珠山古墳の周囲外縁部側立ち上がりを確認検出した。また、周囲外縁部側立ち上がり部分の掘り下げでは、遺構確認面付近より湧水がみられ、それより下の掘り下げはできなかつたが、覆土よりB輕石純層、さらにはFAと思われる火山灰層もみられ、文珠山古墳の築造時期が5世紀後半までさかのばる可能性も考えられる。出土遺物からは、埴輪片も数点出土したもの、トレンチ東側を中心に土師器片の出土がみられた。

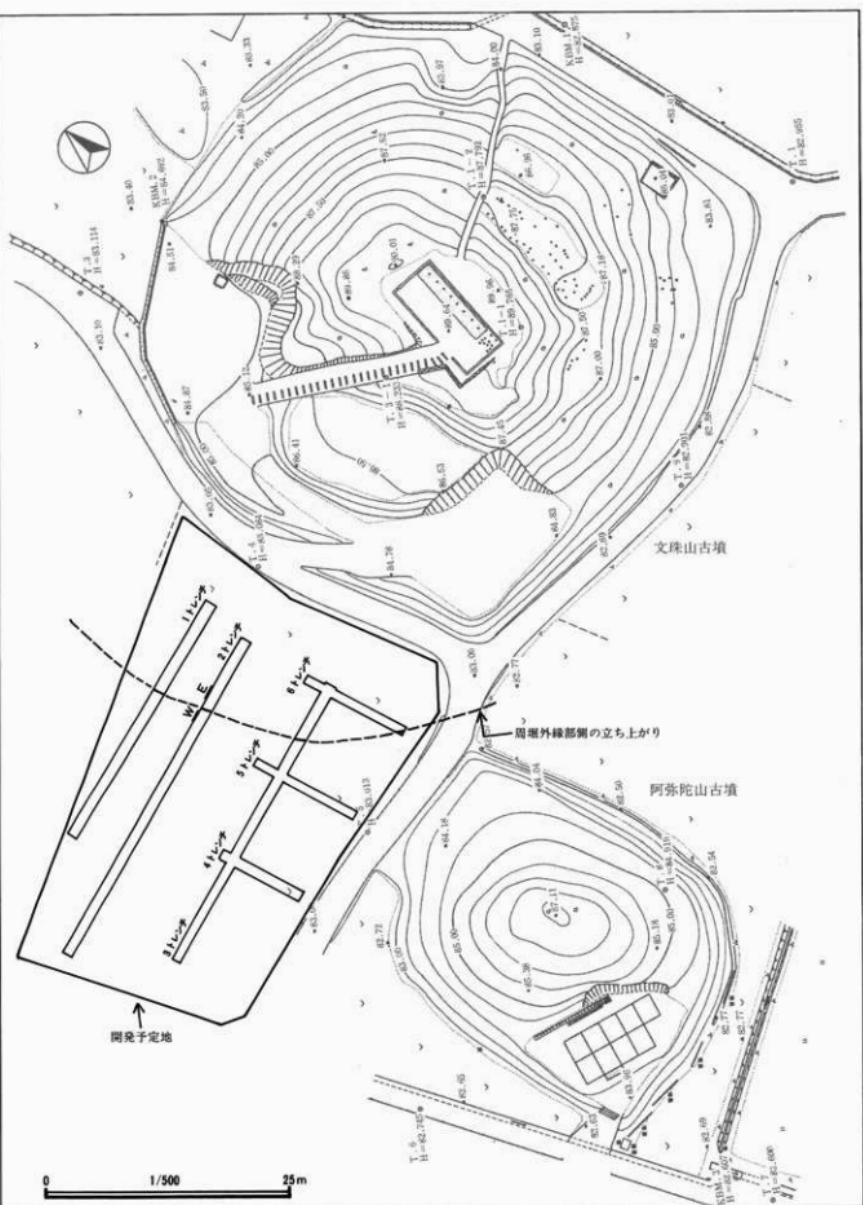
次に、阿弥陀山古墳周囲外縁部側立ち上がりを確認検出するために、同古墳の墳丘主軸ラインにほぼ平行（南北方向）に3本のトレンチ（西から4・5・6トレンチと呼称する。）を設定し、4トレンチの古墳の墳丘側より順次重機を用いて掘削を行った。断面・下面精査の結果、新しい溝（水路）は確認できたものの、どのトレンチからも阿弥陀山古墳の周囲と考えられる外縁部側の立ち上がりを確認することはできなかつた。阿弥陀山古墳周囲外縁部側立ち上がりが、さらに古墳の墳丘側、南の道路部分辺りにあるのか、あるいは古墳築造時にはあったもののそれ以降の掘削等で既に壊されてしまっているのかどうかは不明である。なお、6トレンチは、ほぼ文珠山古墳周囲内に含まれ、トレンチ南側剛より同古墳の周囲外縁部側立ち上がりを確認した。

以上、試掘調査の結果から、開発予定地内東側より文珠山古墳周囲外縁部側立ち上がりが確認検出されたことによって、同古墳の周囲を含めた古墳の範囲を確定することができた。

なお、開発行為着手にあたっては、開発予定地内東側が文珠山古墳周囲部分にあたるため、遺跡が現状保存できるよう事前に協議を重ねた結果、当初の開発計画を縮小して文珠山古墳周囲外の部分に限定してコイン洗車場を建設することになった。



文珠山古墳周囲土層模式図



文珠山古墳・阿弥陀山古墳現況図

21 勝沢町地内

180,000m² 岐阜県場整備

平成6年9月12日～28日（延べ6日）

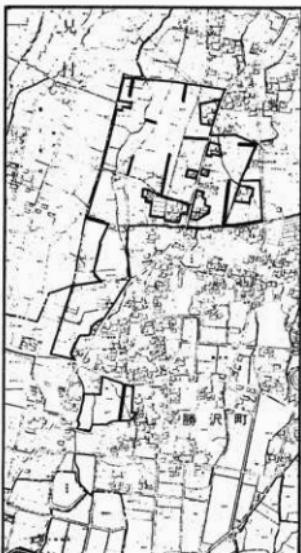
調査の状況

開発予定地は、赤城山の南斜面の舌状台地上にあり、予定地東側隣地には芳賀北曲輪遺跡（昭和63年度に発掘調査がなされ、縄文時代の住居跡24軒や古墳6基等が検出されている。）、市指定史跡オブ塚古墳、さらに芳賀北部団地遺跡（昭和48～49年に発掘調査がなされ、縄文時代の住居跡31軒、奈良～平安時代231軒等が検出されている。）が存在していた場所である。

試掘調査は、開発面積が広いことから、遺跡の現状保存ができない道路部分、水路部分、さらに切の土する部分を中心にトレンチを設定し、延べ6日間をかけて行われた。

調査の結果、開発予定地南飛び地部分より、古墳時代前期の住居跡1軒を検出した。（西曲輪遺跡）現在、遺跡の取り扱いについて協議中。

また、開発予定地の西側部分を中心に縄文時代の土器片等の遺物の検出が多い箇所がみられたため、それらの箇所については、掘削時に工事立会を実施することにした。



22 大手町三丁目7-1

392.79m² 新聞社支局

平成6年9月14日

調査の状況

開発予定地は、「再築前橋城」の三ノ丸の北柳原口内の南側道路部分にあたり、古くは齋藤城の時代から城内に位置していたところである。

試掘調査は、既存の建物が建っているため、現状駐車場になっているところで新築する建物建築部分にトレンチを設定し、重機を用いて掘削を行った。断面・下面精査の結果、地表から50cm下までは上からの碎石・盛土層、さらに戦災で焼失したものと思われる灰・炭化物層がみられ、戦時中のものと考えられる瓦片も出土した。また、コンクリート片や頭大の河原石を含む地表下1mにも達する擾乱が所々みられた。ただし、戦前以前の溝と切り合い関係からその溝よりも多少古くなると考えられる柵列を部分的に検出したため、既存の建物解体時と新築する建物の基礎掘削時に工事立会を実施することにした。



23 富田町地内

55,684m² (内1,905m²) 農業構造改善

平成6年12月6日

調査の状況

開発予定地は、遺物散布地で木舟遺跡の範囲内に当たる。北に富田遺跡群と南の小島田八日市遺跡にはさまれた尾根状の微高地に当たる。

確認調査の結果、開発予定地の南西から縄文時代の土坑と近世の溝が検出された。

遺物は縄文の土器片が検出された。東側は耕地整理の際に削平が行われと見られ、遺物・遺構共に検出されなかった。現在保存協議実施中である。



24 鶴光路町268外

4,411.83m² 道路改良

平成6年12月8日

調査の状況

開発予定地は、前橋市南部の水田地帯にあたり、端氣川の右岸にあたる。

周辺では、古代の水田跡が発見されており、本開発予定地の南に接して西田遺跡（平安時代の水田跡）が位置している。

本開発予定地の確認調査の結果、平安時代の水田跡が検出された。地形からみて西田遺跡に含まれるものとみられる。

現在、本遺跡の取り扱いについて協議中。



25 房丸町121外

3,569.76m² 道路改良

平成6年12月13日

調査の状況

開発予定地は、前橋市南部の水田地帯にあたり、端氣川の左岸にあたる。周辺では、古代からの水田が多く発見されている。南に隣接して西田遺跡（平安時代の水田跡）が位置する。

本開発予定地でも、水田の存在が想定されたが、確認調査の結果、既にかなりの削平がなされており、遺構は検出されなかった。水田があったとしても、以前の耕地整理の際に失われたものと考えられる。遺物の検出もみられなかった。



26 前箱田町281外

3,650m² 道路改良

平成6年12月15日

調査の状況

開発予定地は、前橋市南西部の利根川右岸にあたり、条里水田の想定地である。南西には、前箱田遺跡（箱田中）が接しており、平安期の水田が検出されている。

本開発予定地でも、確認調査の結果、平安時代の水田跡が検出された。

現在、保存協議中。（稲荷遺跡）



27 朝日町四丁目22番

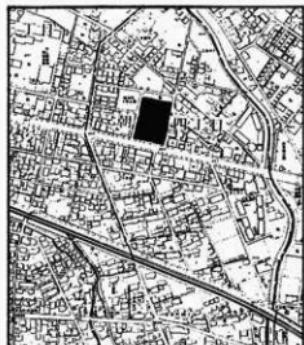
5,381.33m² 消防庁舎

平成6年12月20日

調査の状況

開発予定地は、旧利根川の右岸にあたり、微高地になっていた。遺跡の可能性があり、確認調査を実施した。

調査の結果、開発予定地が旧利根川の流路であることは確認されたが、遺構及び遺物は確認されなかった。



28 西大室町地内

11,500m² 公園整備

平成7年1月10, 11日

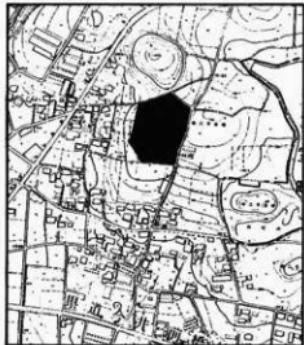
調査の状況

開発予定地は、西大室町の大室古墳群の西に位置している。後二子古墳の西で、小古墳の南に接している。

確認調査は、内堀遺跡群の範囲内にあたり、遺跡の状況を確認するために行った。

調査の結果、縄文土器の包含層2カ所のほか、縄文時代の土坑4基と弥生時代から古墳時代にかけての土坑1基と溝1条を検出した。

現在、遺跡の現状保存について協議中。





2号 二之宮町（荒砥青柳II遺跡）



6号 小坂子町

写真図版 2



7号 箱田町（五反田II遺跡）



8号 鶴光路町（西田遺跡）



10号 総社町



11号 元総社町（早道遺跡）

写真図版 4



17号 総社町（遠見山古墳）



20号 山王町（阿弥陀山古墳）



21号 勝沢町（西曲輪遺跡）



23号 富田町（木舟遺跡）

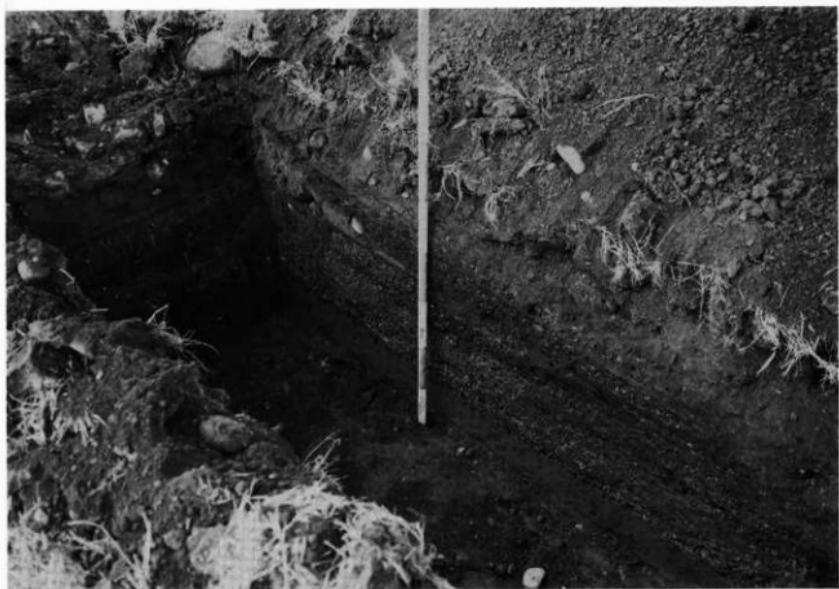
写真図版 6



24号 鶴光路町（西田遺跡）



26号 箱田町（稻荷遺跡）



27号 朝日町



28号 西大室町（内堀遺跡）

平成 6 年度 市内遺跡発掘調査報告書

平成 7 年 3 月 20 日印刷

平成 7 年 3 月 30 日発行

発 行 前橋市教育委員会文化財保護課

前橋市上泉町 6 6 4 - 4

印 刷 上 每 印 刷 工 業 株 式 会 社

前橋市天川大島町 3 0 5 - 1



